

平成28年度 水道事業会計の決算状況

わたしたちの日常生活において、欠かせない水を供給する水道は、生活を支えるライフラインの一つです。

市は、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、市民の皆さんからいただく水道料金を主な財源として、水道施設の整備や維持管理などを行っています。

平成29年3月31日をもって、平成28年度の決算状況が確定しましたので、今後、市議会で審査を受けることとなります。

今号では、水道事業会計の平成28年度決算状況をお知らせします。

給水の状況

給水人口	48,429人
給水戸数	22,177戸
年間給水量	3,908,194m ³
一日一人当たり平均給水量	0.221m ³
平均配水量(一日当たり)	12,326m ³

(平成29年3月31日現在)

水道事業は、地方公営企業法に基づき、地方自治体が経営する企業として運営しています。

会計制度は、企業の経営成績、財政状態を明らかにするため、企業会計方式を採用しており、事業に必要な経費は、経営に伴う収入(水道料金収入)を充てるという独立採算制を原則に経営を行っています。

このため、事業の運営に当たっては、日々の暮らしに必要な不可欠な水を各家庭に安定的に届けるとともに、常に効率的な事業運営を図り、企業の経済性の発揮が求められます。

現在はもちろん、将来にわたって市民の皆さんに水道水を供給していくため、事業運営基盤の強化を図り、安全安心な給水を確保する必要があります。

水道事業会計の概要

収入と支出の概要

◎収益的収支

収益的収支とは、水道水を家庭にお届けするためにかかる費用などの収支を表したものです。

平成28年度の収入合計は、予算の8億8千850万円に対し、決算は8億9千754万円で904万円の増となりました。

支出合計は、予算の8億2千975万円に対し、決算は7億8千940万円で4千35万円の減となりました。

この結果、収支決算は、1億814万円の黒字となりました。黒字額につ

◎資本的収支

資本的収支とは、浄水場や配水池、配水管の新たな整備などを行うための収支を表したものです。

平成28年度の収入合計は、予算の3億630万円に対し、決算は1億9千614万円で1億1千16万円の減となりました。



▶平成28年度に驚別町で行った配水管改良工事

また、支出合計は、予算の6億9千469万円に対し、決算は5億8

いては、今後、国などからの借入金の元金償還に備えるため、減債積立金に5千400万円、配水管の更新などの施設整備に備えるための建設改良積立金に5千414万円を積み立てます。

収益的収支

項目	決算額
収益的収入	8億9,754万円
営業収益	8億6,344万円
(内給水収益)	8億3,032万円
営業外収益	3,402万円
特別利益	8万円
収益的支出	7億8,940万円
営業費用	7億 171万円
営業外費用	8,769万円
特別損失	0万円
純利益	1億 814万円

千28万円で1億1千41万円の減となりました。

この結果、収支決算は、3億8千414万円の不足となりました。不足額については、損益勘定留保資金などで補てんしました。

資本的収支

項目	決算額
資本的収入	1億9,614万円
企業債	1億9,590万円
負担金	0万円
他会計補助金	24万円
資本的支出	5億8,028万円
建設改良費	3億1,124万円
企業債償還金	2億6,904万円
不足額	3億8,414万円